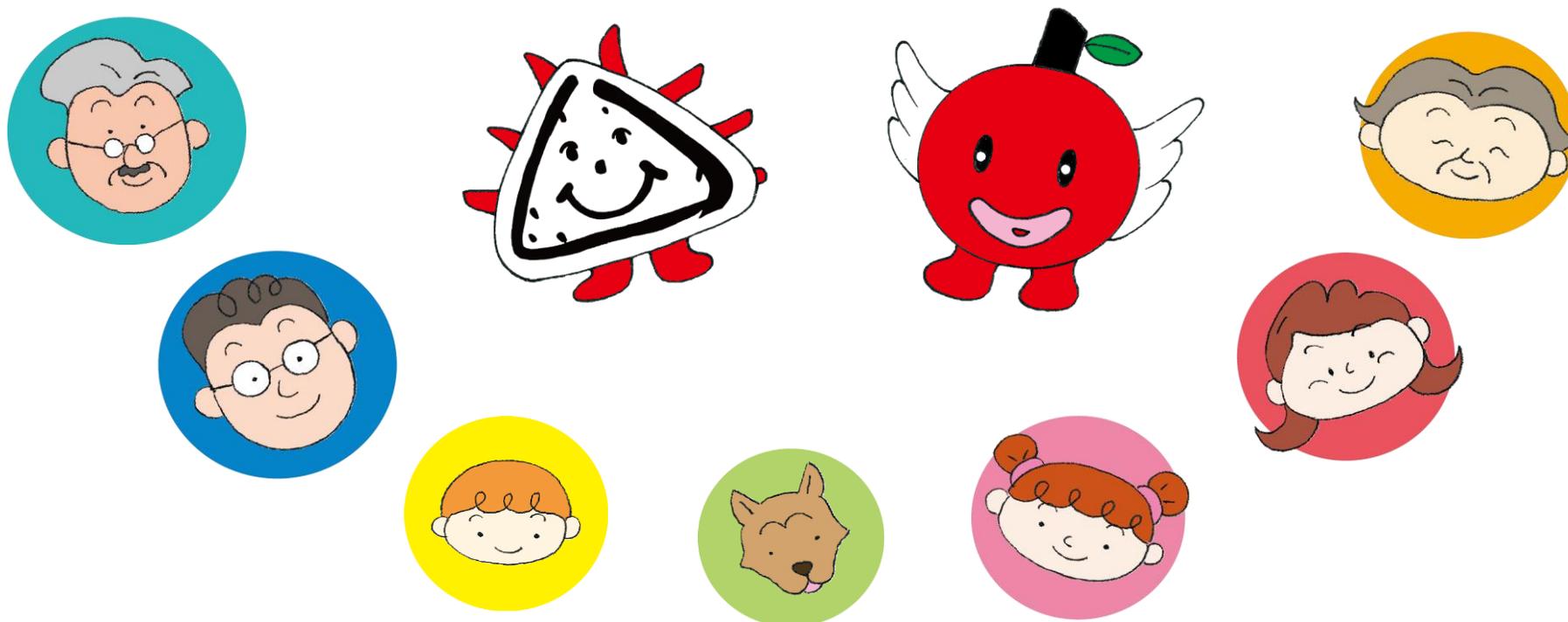


# 藤崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略

施策パッケージ【平成30年度実績および令和元年度目標】



藤 崎 町

(藤崎町総合戦略会議による評価確定後)

## 1. 藤崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略施策パッケージについて

藤崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略施策パッケージは、平成27年度から平成31年度までの5年間を計画年度とする藤崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略に示した主要施策に基づき、具体的に実施する事業等を定めたものです。施策パッケージには、藤崎町総合計画基本計画（ふじさき未来・夢プラン）の実施計画（アクションプラン）に定めた事業や新規に実施する事業の中から、数値目標を設定でき、総合戦略の推進やKPI達成に有効と考えられる事業を掲載しており、PDCAサイクルにより効果検証することとします。

【KPI】 key performance indicator

重要業績評価指標。業績評価を定量的に評価する指標。達成目標に対し、どれだけの進歩があったかを明確にする指標であり、これをもとに進捗状況と業務改善を行う。

【PDCAサイクル】

事業の推進やリスクマネジメントを円滑に行う手法。Plan（計画）－Do（実行）－Check（確認）－Action（行動）の4段階の構成となっていることから、PDCAと称されている。

## 2. 施策パッケージの見方について

### (1) 担当課による目標設定および検証

○評価指標・・・事業の効果を検証する指標

○現状値・・・年度当初における評価指標の累計値または前年度内の達成値

○目標値・・・年度内の事業展開により目指すべき評価指標の数値（年度内達成値または累計値）

○実績値・・・年度末における評価指標の数値（年度内達成値または累計値）

○事業効果・・・目標値と実績値を比較し、判定基準により事業の効果を5段階で検証します。

A 地方創生に非常に効果的であった。（実績値が目標値に近い場合や上回った場合など）

B 地方創生に相当程度効果があった。（実績値が目標値の7割～8割程度の場合など）

C 地方創生に効果があった。（実績値（年度内達成値）が目標値を7割程度より下回っても、事業開始前よりも状況（累計値）が改善した場合など）

D 地方創生にあまり効果がなかった。（実績値（年度内達成値）が目標値を7割程度より下回り、事業開始前と状況（累計値）が同じ場合など）

E 地方創生に効果がなかった。（実績値が目標値を大きく下回り、事業開始前よりも状況が悪化した場合など）

○今後の方針・・・事業効果を検証し、次年度以降の事業取組みの方針を決定します。また、その理由について詳細を記載します。

1. 事業をさらに発展させる。

2. 事業を継続する。

3. 事業内容を見直す。

4. 予定通り事業終了。

5. 事業を中止する。

(2) 藤崎町総合戦略会議による検証および評価

○事業評価・・・事業効果及び今後の方針を検証し、地方創生の推進に有効であるかを3段階で評価します。

- A 総合戦略の推進に有効である。
- B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効であると言える。
- C 総合戦略の推進に有効とは言えない。

<基本目標①> 地域産業に魅力ある“しごと”を創生する

概要	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
地域資源を活かしながら、地域農業6次産業化、観光コンテンツ創出、産業強化、戦略的雇用支援等を推進し、地域に魅力あるしごとを創る。それにより、皆が地域に定着し、輝いて活躍できる基盤づくりを進める。	■経営体あたり農業算出額	489万円 (H22)	現状より増加 (H32)	590万円 (RESAS)	—	—	—	—	
	■観光入込客数	247,329人 (H26)	310,000人 (H32) ※5年で25%増加	265,670人 (観光入込客数調べ)	244,900人 (観光入込客数調べ)	211,323人 (観光入込客数調べ)	284,582人 (推計値)		
	■食彩ときわ館利用者数	150,793人 (H26)	181,000人 (H32) ※5年で20%増加	152,767人	147,498人	109,521人	229,261人		

※5年毎公表

(1) まちの未来を耕す農業の振興

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
藤崎ブランド農産物 みんなで発信！みんなで応援！	■新規就農者数	18人 (H26)	48人 (H32) ※5年で30人増加	24人 (新規就農者支援制度利用者数累計)	28人 (新規就農者支援制度利用者数累計)	34人 (新規就農者支援制度利用者数累計)	41人 (前年+認定新規就農者+入農地プラン掲載者)		

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成30年度				令和元年度		担当					
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）				
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）			
1	<b>藤崎町地域産業振興拠点整備事業</b>		ふじさき食彩テラス売上金額	229,100千円 (116,000千円)	230,814千円	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する 【方針の詳細】前年度までは実績が目標割れていたものの、ふじさき食彩テラス開業後のH30は目標を達成した。今後はR2までの期間でKPIの確認検証を続ける。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】初年度の活況の後、2年目以降に停滞する懸念もなくなっている。内容の充実を目指してしっかりとやって欲しい。	ふじさき食彩テラス売上金額	249,800千円 (230,814千円)	ふじさき食彩テラス利用者数	181,000人 (229,261人)	新規雇用者数及び創業者数（累計値）	80人 (97人) ※目標値は地域再生計画より
	事業概要・目的	取組内容												
2	<b>ふじさき産品開発育成支援事業</b>		ふじさき産品開発数	5品 (8品)	11品	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する 【方針の詳細】ドレッシング製造からスタートし、現在では多様な商品開発の要望に対応している。今後も需要に応じて広く対応していく。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】新規の開発商品によって既存の商品が淘汰されないように気を配って欲しい。その他別紙参照	ふじさき産品開発数	5品 (11品)				
	事業概要・目的	取組内容									新規雇用者数及び創業者数	50人 (0人)	新規雇用者数及び創業者数（累計値）	80人 (97人)
	町の優良農産物やふじさき産品を町内外に発信する地域産業振興拠点を整備し、雇用創出や地域経済の活性化を図る。	食彩ときわ館に農産物加工、飲食、観光情報発信等の機能を拡充するための増改築を行い、子育て家庭をターゲットにした事業展開を図る。												
	地域6次産業化を推進するため、地元農産物等を活用した新しいふじさき産品の開発やそれらを活用した事業・経営の拡大支援を行う。また、既存の商工業者が販売している産品のブラッシュアップについてもアドバイスをを行うなど、地域資源の磨き上げ及び開発育成を図る。	若手農家等の地元農産物を活用したドレッシング開発、お菓子など既存産品のブラッシュアップ等、地域産品を活用した事業経営の支援を行う。												

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成30年度				令和元年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
3	<b>藤崎町認定農業者事業</b>		認定農業者数	253人 (231人)	228人	D 地方創生にあまり効果がなかった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	認定農業者数	230人 (228人)	農政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 認定農業者の営農技術向上・知識習得を通じて、担い手の育成を図る。	【特記事項】 高齢化に伴って数が減るのはやむを得ない。経営規模拡大の影響もある。新規の担い手を入れることに注力してもらいたい。その他別紙参照			
4	<b>県りんご産業基幹青年養成事業</b>		りんご産業基幹青年養成者数	4人 (5人)	4人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	りんご産業基幹青年養成者数	4人 (4人)	農政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 後継者不足に対応するため、若手生産者の育成を図る。	【特記事項】			
5	<b>りんご病害虫マスター養成事業</b>		りんご病害虫マスター養成者数	2人 (2人)	2人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	りんご病害虫マスター養成者数	2人 (2人)	農政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 病害虫に関する専門的知識を有する生産者の育成を図る。	【特記事項】			
6	<b>りんご剪定士養成事業</b>		りんご剪定士養成者数	3人 (2人)	3人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	りんご剪定士養成者数	3人 (3人)	農政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 剪定に係る専門的知識を有する生産者の育成を図る。	【特記事項】			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成30年度				令和元年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
7	<b>りんご減農薬栽培推進事業</b>		りんご減農薬栽培面積数	5,207a (2,244a)	2,906a	C 地方創生に効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	りんご減農薬栽培面積数	5,207a (2,906a)	農政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 減農薬栽培のPR活動を積極的に行う。	【特記事項】 別紙参照			
8	<b>にんにく優良品種導入事業</b>		にんにく種子育成ほ場面積	170a (140a)	170a	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	にんにく種子育成ほ場面積	170a (170a)	農政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 高収益作物であるにんにくの作付面積拡大に取り組んでいく。	【特記事項】			
9	<b>食料と農業に関する基本協定代表者会議事業</b>		首都圏消費者農業体験交流人口	60人 (51人)	42人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	首都圏消費者農業体験交流人口	60人 (42人)	農政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 都市圏での交流事業に地元生産者を参加させる。ふじさき食彩テラスの機能活用による商品開発検討。 ※10/6稲刈体験(20人)台風接近により中止	【特記事項】 消費者との交流で藤崎町と農産物の付加価値を高めていくには、取り組みを継続していくことが重要と考える。			
10	<b>りんご「ふじ」発祥の地ブランド化推進事業</b>		会議参加のりんご生産者数	5人 (3人)	2人	E 地方創生に効果がなかった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	会議参加のりんご生産者数	5人 (2人)	農政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 協議会においてりんご「ふじ」発祥の地として農産物のブランド化をどのように推進していくかを再度検討し、PR活動等の強化につなげる。	【特記事項】 ブランド価値をつくって高めていくためのストーリーが見えてこない。			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容	平成30年度					令和元年度		担当	
		重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価	重要業績評価指標 (KPI)		
		評価指標	目標値 (現状値)	実績値				評価指標		目標値 (現状値)
11	<b>特色のある地域間連携産品づくり事業</b>	オリジナル連携 産品数	2品 (7品)	5品	A 地方創生に 非常に効果的であ った	3 事業内容を 見直す	A 総合戦略の 推進に有効			
	【方針の詳細】 連携先の紀宝町で 藤崎産原料を使用 した4商品も開発 された。今後は地 方創生交付金の期 間終了により、新 たな交付金事業の 枠組へ移行して実 施する。					【特記事項】				
12	<b>地域6次産業化推進事業</b>	農産物加工販売 実践セミナー参 加者数	35人 (45人)	49名	A 地方創生に 非常に効果的であ った	4 予定通り事 業終了	A 総合戦略の 推進に有効			
	【方針の詳細】 H30は6次化と商品 開発販促等に係る 講座を実施して産 業振興の裾野を広 げる工夫をした。 地方創生交付金の 期間終了により、 次の交付金事業の 枠組へ移行する。					【特記事項】 個々の事業者の6 次産業化はもちろ んのこと、地方創 生の視点において は、地域全体が連 携して6次産業化 で付加価値を生み 出していく考えが 必要。				

(2) 魅力あふれる観光の創出

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
まちを歩き まちを知る 好奇心でまち再発見！	■観光ウェブサイト利用者数	サイト開設 (H27)	500人 (H32) ※5年で500人増加	0人 (年度末開設)	14,574人	29,822人	48,121人		

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成30年度				令和元年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
1	<b>観光情報サイト「ふじさんぼ」活用事業</b>		フェイスブック「ふじさんぼ」の「いいね！」数	334人 前年比10%増 (304人)	657人	A 地方創生に非常に効果的であった	1 事業をさらに発展させる	A 総合戦略の推進に有効	フェイスブック「ふじさんぼ」の「いいね！」数	722人 前年比10%増 (657人)	経営戦略課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 観光情報の発信を強化し、誘客につなげる取り組みに結びつける。	【特記事項】			
2	<b>ふじさき秋まつり事業</b>		町民力結集の新たな取組件数	1件 (5件)	7件	A 地方創生に非常に効果的であった	1 事業をさらに発展させる	A 総合戦略の推進に有効	町民力結集の新たな取組件数	1件 (7件)	経営戦略課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 内容を精査しながら、新しい取組を検討する。	【特記事項】			
3	<b>ご当地キャラ活用によるPR活動実施事業</b>		ご当地キャラ活動件数	30件 (34件)	22件	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	町内での新たな催しへの参加件数	1件 (0件)	経営戦略課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 町内での活動に重点を置き、活動内容を充実させる。	【特記事項】			
	事業概要・目的	取組内容									

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成30年度					令和元年度		担当	
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価	重要業績評価指標 (KPI)		
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値				評価指標		目標値 (現状値)
4	<b>観光人材育成プロモーション事業</b>		観光ボランティアガイド数	4人 (3人)	3人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	観光ボランティアガイド数	4人 (3人)	経営戦略課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 更なる人材育成に取り組みつつ、活動の機会を増やす。	【特記事項】			
5	<b>ふじさき産品PRプロモーション事業</b>		「ふじさき産品」ウェブサイトアクセス数	2,500件 (6,573件)	11,009件	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	「ふじさき産品」ウェブサイトアクセス数	前年より増 (11,009件)	経営戦略課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 引き続き多様な情報発信やイメージづくりの実施によるふじさき産品ファンづくりに取り組む。	【特記事項】			
	人口減少対策の一環として、交流人口の増加を目的とした観光人材育成プロモーション事業を実施する。	ふじさき検定やまち歩きセミナー等を実施し、観光人材育成の掘り起こしを行い、将来的な観光コンシェルジュの設置につなげる。									
	地元農産物を活用した加工品や既存の地場産品等のPRプロモーションを強化するために、観光ウェブサイトと連動した、ふじさき産品のウェブサイト制作やトータルな魅力を発信するためのPRデザインを作成し、ふじさき産品を発信することで、観光交流人口を増やす。	ふじさき産品のウェブサイト開設・運営等により、PRプロモーションを強化する。									

(3) 活力ある地域産業の強化

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標				達成状況（実績値）				
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
町内の買い物で みんなが縁（円）でつながります！ ■誘致企業数		12社 (H26)	15社 (H32) ※5年で3社増加	12社	12社	12社	12社		

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成30年度				令和元年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
1	<b>プレミアム付商品券事業</b>		地元事業所での利用率	50% (37.4%)	42.10%	B 地方創生に相当程度効果があった	3 事業内容を見直す 【方針の詳細】大型店のみならず地元商店等の利用率向上にむけた取り組みを商工会に働きかけ、事業継続を含めて検討する。	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効 【特記事項】大型店が中心になってしまうため、地元の店でのメリットを増やして利用してもらいたい。	地元事業所での利用率	50% (42.1%)	経営戦略課
	事業概要・目的	取組内容									
プレミアム付商品券の発行を通じて地元商工業者の利用・販売促進、活性化を促す。		1万円で1万1千円分の商品券が購入できるプレミアム付商品券を3,000セット販売する。									
2	<b>商店街等活性化イベント事業</b>		商店街等活性化イベント数	2イベント (1イベント)	2イベント	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する 【方針の詳細】商工会や関係団体と事業実施や内容について再検討しながら継続する。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】地域活性において非常に良いと思う。町民全体での参加率が上がるとなお良い。	商店街等活性化イベント数	2イベント (2イベント)	経営戦略課
	事業概要・目的	取組内容									
町内商店街が実施する活性化イベント事業に対して、補助金を交付して支援を実施する。		町商工会を経由し、なべワングランプリ、梅田町商店街まつりのイベント補助を実施する。									
3	<b>「ふじワングランプリ」事業</b>		エントリーメニュー400食完売店舗の割合	100% (100%)	100% (100%)	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する 【方針の詳細】財源としている交付金の減額が見込まれている。財源規模に見合った事業内容を検討しつつ、事業継続を図る。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】商店街活性化イベントと同様に、地域活性において非常に良い。	エントリーメニュー400食完売店舗の割合	100% (100%)	経営戦略課
	事業概要・目的	取組内容									
町のオリジナルメニュー開発を通じ地域資源や観光資源の魅力を向上させる。開発メニューを集めた食のイベントを開催し、誘客宣伝・情報発信を行う。メニューの継続販売・地域への普及を図り、地域経済の活性化を促す。		町内の店舗が町の特産品を活用したオリジナルメニューを提供し、来場者の投票によりグランプリを決定する。									

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成30年度				令和元年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
4	<b>グルメぐりスタンプラリー事業</b>		スタンプラリー参加者数	131人 前年比20%増 (109人)	145人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	スタンプラリー参加者数	174人 前年比20%増 (145人)	経営戦略課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 事業効果が出ているので、取り組みを継続して地域産業の振興に貢献する。	【特記事項】 参加店も増えているので良い。			
5	<b>企業誘致支援事業</b>		新規立地企業数	1社 (0社)	0社	E 地方創生に効果がなかった	3 事業内容を見直す	C 総合戦略の推進に有効とは言えない	新規立地企業数	1社 (0社)	経営戦略課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 相談企業に対し、情報のフンストップ化など対応強化を検討する。	【特記事項】			
6	<b>特別保証制度保証料補助事業</b>		小口資金保証料補てん制度利用率	90% (99.9%)	98.50%	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	小口資金保証料補てん制度利用率	90% (98.5%)	経営戦略課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 事業認知はされているため、現状を維持する。	【特記事項】			
7	<b>地域商社を中心としたまち・ひと・しごとの未来デザインLABO始動プロジェクト</b>		/	/	/	/	/	/	ふじさき食彩テラス売上額	271,909千円 (230,814千円)	経営戦略課
	事業概要・目的	取組内容									
		町食産業創造拠点施設を中心に産業振興に向けた多角的事業の展開を図る。 ①ふじさきブランドLABO…地位特性を活用したマーケティングによる販売促進 / ②ふじさき産品LABO…地域産品をもとにした付加価値のある商品開発 / ③ふじさきデザインLABO…多様な人材の交流と対話によるイノベーションの創出とコミュニティ形成 / ④ふじさきおもてなしLABO…農・食・観光を軸とした観光コンテンツの開発と運営	地方創生推進交付金事業として、平成31年度(令和元年度)から3ヶ年の計画で実施する予定としている。								

(4) 戦略的な雇用支援の推進

オールふじさき！みんなでアクション！ 地域のしごとの魅力を みんなで子どもたちに伝えよう！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
■起業・創業制度資金の活用件数	0件 (H26)	5件 (H32) ※5年で5件増加	0件 (累計)	0件 (累計)	1件 (累計)	4件 (累計)			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容	平成30年度					令和元年度		担当	
		重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価	重要業績評価指標（KPI）		
		評価指標	目標値（現状値）	実績値				評価指標		目標値（現状値）
1	<b>雇用拡大セミナー事業（実践型地域雇用創造事業）</b>	事業概要・目的 事業主向けの地域資源を活用した商品力向上を図るセミナーやITを活用した情報発信・販路拡大の手法を学ぶセミナーを開催し、雇用機会の拡大を目指す。	取組内容 藤崎町産業創造協議会の事業推進員が各種セミナーを企画運営し、ホームページ等で情報提供する。	セミナー参加事業所数 28事業所 (90事業所)	105事業所	A 地方創生に非常に効果的であった	4 予定通り事業終了	A 総合戦略の推進に有効	経営戦略課	
	【方針の詳細】 厚労省の委託事業がH30で終了となった。今後は新たな地方創生推進交付金の枠組みにて必要に応じた仕事づくりセミナー等を実施する。						【特記事項】			
2	<b>雇用創出実践メニュー事業（実践型地域雇用創造事業）</b>	事業概要・目的 りんご、にんにく、大豆等の町の特産品を活用して、ふじさき産品のメニュー開発を行い、販路を開拓することで、地域事業所がそのノウハウを活用し、雇用の拡大につなげる。	取組内容 藤崎町産業創造協議会の実践支援員がふじさき産品を開発し、ホームページ等で成果を公表する。	ふじさき産品開発数 5品 (6品)	6品	A 地方創生に非常に効果的であった	4 予定通り事業終了	A 総合戦略の推進に有効	経営戦略課	
	【方針の詳細】 厚労省の委託事業がH30で終了となった。今後は協議会が開発したふじさき産品のレシピを活用して事業展開を図る事業者等を募集していく。						【特記事項】			
3	<b>中学校職場体験事業</b>	事業概要・目的 中学生が地元の職場を体験することにより、地元の仕事の良さを学ぶなど、将来的な地元就職につながる支援を行う。	取組内容 中学校1・2年生を対象に、地元の職場での体験学習を実施する。	職場体験実施校数 2校 (2校)	2校	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	職場体験実施校数 2校 (2校)	学務課
	【方針の詳細】 今後も地元への就職へつながる取組として継続支援する。						【特記事項】			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容	平成30年度					令和元年度		担当	
		重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価	重要業績評価指標 (KPI)		
		評価指標	目標値 (現状値)	実績値				評価指標		目標値 (現状値)
4	<b>青森県未来を変える挑戦資金事業</b>	制度利用件数	1件 (1件)	3件	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する  【方針の詳細】 目標は達成したが、継続的な取組ができるよう検討する。	A 総合戦略の推進に有効  【特記事項】	制度利用件数	3件 (3件)	経営戦略課
	事業概要・目的									
	新たに事業を開始しようとする者、または事業を開始して1年に満たない中小企業者の必要な資金（運転資金、設備資金）の調達について、青森県未来を変える挑戦資金の融資を受けた場合に、信用保証料を補てんする。		県の信用保証料30%補てん後の信用保証料を町が全額補助する。							

<基本目標②> まちの未来を築く“ひと”を創生する

概要	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
豊かな自然や歴史文化、交通利便性の高さなど、町の強みを最大限に活かしながら、町の未来を築く“ひと”を創生することで、誰もが活躍できるまちづくりを推進する。	■定住意識について「転出は考えていない」「将来的に町に戻りたい」と考える人の割合	78.1% (H27)	現状より増加 (H32)	未計測	未計測	未計測	未計測		
	■町に愛着を感じている人の割合	73.5% (H24)	現状より増加 (H32)	未計測	未計測	未計測	未計測		

(1) 新しい人の流れをつくる定住促進支援

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
子どもたちが安心して遊べる 地域のみんなが見守り隊！	■移住相談件数	0件 (H26)	10件 (H32) ※5年で10件増加	1件 (累計)	1件 (累計)	1件 (累計)	1件 (累計)		

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成30年度				令和元年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
1	<b>移住・交流促進事業</b>		移住相談件数	3件 (0件)	0件	E 地方創生に効果がなかった	2 事業を継続する 【方針の詳細】 当町での相談は無かったが、定住自立圏等との連携を強化し、相談者の利便性向上に努める。	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効 【特記事項】 令和元年度の首都圏の移住イベントで藤崎町へのUターン希望相談があった。全く効果が無いということではない。その他別紙参照	移住相談件数 前年より増(0件) 県外からの転入者数 前年より増(110人) 三大都市圏と政令指定都市からの転入者数 前年より増(86人)	経営戦略課	
	事業概要・目的	取組内容									
2	<b>ふるさと納税事業</b>		ふるさと納税者件数	4,764件 (3,970件)	7,201件	A 地方創生に非常に効果的であった	1 事業をさらに発展させる 【方針の詳細】 町内の返礼品提供事業者数について更なる拡大を図ることにより、地域経済の活性化につなげる。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】	ふるさと納税者件数 7,562件 (7,201件)	財政課	
	事業概要・目的	取組内容									

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成30年度					令和元年度		担当	
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価	重要業績評価指標 (KPI)		
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値				評価指標		目標値 (現状値)
3	<b>弘前圏域空き家バンク事業</b>		空き家バンク事業登録者数	10人 (0人)	6人	C 地方創生に効果があった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	空き家バンク事業登録者数	10人 (6人)	経営戦略課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】物件登録数を増やすことを重点的に取り組む。	【特記事項】			
4	<b>若者移住すまいづくり補助事業</b>		新築移住世帯数	14世帯 (23世帯)	21世帯	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	新築移住世帯数	21世帯 (21世帯)	建設課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】人口の維持と地域の活性化に貢献した。事業効果検証をし、今後の制度の存続のあり方を検討する。	【特記事項】			
5	<b>子育て世帯定住促進事業</b>		補助金等交付決定件数	10件 (4件)	8件	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	補助金等交付決定件数	10件 (8件)	住民課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】引き続き本事業を実施し、子育て世帯の定住促進と子育て支援の充実を図る。	【特記事項】			
	弘前市が実施している民間の不動産業者等と連携した空き家バンク事業を、弘前定住自立圏市町村で実施できるかを検討する。										
	町内に自らが移住する目的で住宅を建築し、又は新築住宅を購入する若者夫婦に対し、必要な費用の一部を補助することにより、人口の維持と地域の活性化を図る。										
	町に転入し、民間賃貸住宅に入居する子育て世帯に対し、定住促進と子育て支援の充実を図るため、補助金等を交付する。										

(2) 未来を創造する人材の育成

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
地域の愛着やふるさとの誇り 学びながらみんなで学ぼう！	■ジュニアリーダー数	10人 (H26)	15人 (H32) ※5年で5人増加	13人	13人	13人	13人		

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成30年度				令和元年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
1	<b>まつりボランティア事業</b>		まつりボランティアとしての参加者人数	25人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	まつりボランティアとしての参加者人数	30人 (25人)	経営戦略課	
	事業概要・目的	取組内容				【方針の詳細】子ども会育成連合会の協力を得ながら、地元イベントへ参加することの意義やボランティア精神の醸成を図る。	【特記事項】				
2	<b>食の体験学習事業</b>		食の体験学習実施学校数	3校 (3校)	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	食の体験学習実施学校数	3校 (3校)	学務課	
	事業概要・目的	取組内容				【方針の詳細】今後も食育を推進するため、継続支援する。	【特記事項】				
3	<b>子ども総合学習塾事業</b>		子ども総合学習塾参加者延べ人数	201人 (182人)	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	子ども総合学習塾参加者延べ人数	200人 (201人)	学務課	
	事業概要・目的	取組内容				【方針の詳細】弘前大学との連携を見極め事業継続を支援する。	【特記事項】				

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容	平成30年度					令和元年度		担当	
		重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価	重要業績評価指標 (KPI)		
		評価指標	目標値 (現状値)	実績値				評価指標		目標値 (現状値)
4	<b>児童交流事業実行委員会事業</b>	交流事業参加児童数	30人 (30人)	23人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	交流事業参加児童数	30人 (23人)	生涯学習課
	事業概要・目的					取組内容	【方針の詳細】 児童が楽しく交流し、良い思い出となるような内容の充実に努める。			
5	<b>子ども読書週間推進事業</b>	利用者数（お話し会参加者数）	1,100人 (944人)	1,057人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	利用者数（お話し会参加者数）	1,100人 (1,057人)	生涯学習課
	事業概要・目的					取組内容	【方針の詳細】 本の読み聞かせ活動・図書資料の紹介等を通して乳幼児・児童・生徒への読書習慣づくりに努める。			
6	<b>特別支援教育支援員事業</b>	特別支援教育支援員数	11人 (11人)	11人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	特別支援教育支援員数	11人 (11人)	学務課
	事業概要・目的					取組内容	【方針の詳細】 今後も児童生徒の学校生活を充実させるため、継続支援する。			
7	<b>家庭教育支援事業</b>	家庭教育支援事業参加者数	150人 (259人)	85人	D 地方創生にあまり効果がなかった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	家庭教育講座1開催当たり参加者数	80人 (82人)	生涯学習課
	事業概要・目的					取組内容	【方針の詳細】 幼児及び児童生徒の保護者等を対象とした、家庭教育講座及び家庭教育相談の充実を図る。			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成30年度					令和元年度		担当	
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価	重要業績評価指標 (KPI)		
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値				評価指標		目標値 (現状値)
8	<b>藤崎町文化センター自主事業</b>		自主事業参加者数	1,800人 (1,121人)	3,340人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	自主事業参加者数	1,800人 (3,340人)	生涯学習課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 小学校鑑賞事業1回、中学校鑑賞事業1回、一般鑑賞事業2回を実施する	【特記事項】 小中学生の時、公演を見るのが楽しかった。これからも続けて欲しい。			
9	<b>国際交流事業</b>		凧フェスタ参加者数	1,000人 (700人)	700人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	凧フェスタ参加者数	1,000人 (700人)	生涯学習課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 事業は継続するが、主催者の意向によるものが大きいので、主催者と一緒に取り組んでいきたい。	【特記事項】			
10	<b>郷土クラブ事業</b>		郷土クラブ事業参加児童数	22人 (20人)	17人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	郷土クラブ事業参加児童数	22人 (17人)	生涯学習課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 藤崎小・藤崎中央小のクラブ活動の時間に、「菊様の舞」「松助踊り」の指導者を派遣する	【特記事項】			
11	<b>NPO法人文化協会活動事業</b>		文化協会所属団体数	団体 46 個人 5 賛助会員 1 (団体 45) (個人 4) (賛助会員 1)	団体 45 個人 4 賛助会員 1	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	文化協会所属団体数	団体 46 個人 5 賛助会員 1 (団体 45) (個人 4) (賛助会員 1)	生涯学習課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 文化協会による、芸術・文化の交流活動と、芸術・文化の発信拠点となる活動を支援する	【特記事項】			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成30年度				令和元年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
12	<b>中学生海外派遣事業</b>		中学生海外派遣 参加生徒数	16人 (16人)	16人	A 地方創生に 非常に効果的であ った	3 事業内容を見直す	A 総合戦略の 推進に有効	中学生海外派遣 参加生徒数	12人 (16人)	学務課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 派遣数の削減や事 業内容を見直し継 続する。	【特記事項】			
	次代を担う中学生が外国での生活を通して異なる文化や伝統を見聞して理解を深め、国際感覚を養うことにより、国際社会に貢献できる人材の育成と中学校の国際理解教育の推進に資するため実施する。	町内に住所を有する中学2年生を対象に海外でのホームステイ・学校体験を実施する。									

(3) みんながチャレンジできる環境づくり

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
誰かの小さなチャレンジを みんなで全力応援！	■いきいき生活大学受講者数	189人 (H26)	225人 (H32) ※5年で20%増加	257人	343人	352人	317人		

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成30年度				令和元年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
1	<b>いきいき生活大学事業</b>		いきいき生活大学受講者数	400人 (352人)	317人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する 【方針の詳細】 町内外から講師を招き、町民の生きがいや潤いのある生活の手助けとなるような講座を開催する。	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効 【特記事項】	いきいき生活大学受講者数	400人 (317人)	生涯学習課
	事業概要・目的	取組内容									
2	<b>人材育成セミナー事業（実践型地域雇用創造事業）</b>		セミナー参加者数	45人 (83人)	71人	A 地方創生に非常に効果的であった	4 予定通り事業終了 【方針の詳細】 厚労省の委託事業がH30で終了となった。今後は新たな地方創生推進交付金の枠組みにて必要に応じた人材育成セミナー等を実施する。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】			経営戦略課
	事業概要・目的	取組内容									
3	<b>若手農業者の会「ワゲモンド」支援事業</b>		若手農業者の会「ワゲモンド」会員数	27人 (23人)	24人	B 地方創生に相当程度効果があった	3 事業内容を見直す 【方針の詳細】 活動の財政面を支援していた助成制度が終了した。今後は活動の継続に向けたPR面の支援をしていく。	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効 【特記事項】	若手農業者の会「ワゲモンド」会員数	27人 (24人)	農政課
	事業概要・目的	取組内容									

<基本目標③> 結婚・子育ての希望をかなえる“みらい”を創生する

概要	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
地域全体で男女の出会いを応援し、出会いの場づくりなどの支援を行うことで、晩婚化や未婚化を解消する。妊婦や子育て家庭をサポートする環境づくりや子育てサービスの推進など、若い世代の結婚・子育ての希望をかなえる“みらい”を創る。これにより合計特殊出生率上昇と人口自然減抑制を図り、将来の町の人口構造安定化につなげる。	■合計特殊出生率	1.28 (H20～24)	現状より増加 (H32)		未公表 (H25～29)			計測期間中 (H30～R4)	※5年毎公表
	■結婚の支障理由に「異性と出会う機会がない」「収入が少なく将来の生活が不安」を挙げる人の割合	53.8% (H27)	現状より減少 (H32)	未計測	未計測	未計測	未計測		
	■希望の子どもの数を持っていない理由に「子育てや教育にお金がかかる」を挙げる人の割合	65.9% (H27)	現状より減少 (H32)	未計測	未計測	未計測	未計測		

(1) 出会いから始まる婚活の支援

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
出会いから始まる恋物語 地域みんなのサポートで！	■（仮称）ふじさき出会い応援団の構成団体数	（仮称）ふじさき出会い応援団の組織化	10団体 (H32) ※5年で10団体増加	未組織化	未組織化	未組織化	未組織化		

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容	平成30年度			令和元年度		担当		
		重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針		事業評価	
		評価指標	目標値（現状値）	実績値					重要業績評価指標（KPI）
1	<b>ふじさき出会い応援事業</b>				B 地方創生に相当程度効果があった	5 事業を中止する 【方針の詳細】 本事業は平成30年度をもって終了とし、次年度以降はひろさき広域婚活支援事業にて男女の出会いを応援する。(No. 4参照)	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効 【特記事項】		住民課
	事業概要・目的	取組内容	婚活イベント参加率（婚活イベントの定員に対する参加者数の割合）	95.0% (92.5%)					
2	<b>出愛サポートセンター事業</b>				B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する 【方針の詳細】 引き続き本事業を活用して、広域での男女の出会いを支援する。	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効 【特記事項】	出愛サポートセンターに登録し、お見合いをした人数	住民課
	事業概要・目的	取組内容	出愛サポートセンターに登録し、お見合いをした人数	17人 (17人)					

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容	平成30年度					令和元年度		担当	
		重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価	重要業績評価指標 (KPI)		
		評価指標	目標値 (現状値)	実績値				評価指標		目標値 (現状値)
3	<b>あおもり出会いサポートセンター事業</b>								住民課	
	事業概要・目的	取組内容	あおもり出会いサポートセンターSNS (Facebook) フォロワー数	200人 (177人)	211	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する  【方針の詳細】引き続き婚活イベントの情報を提供し、男女の出会いを支援する。	A 総合戦略の推進に有効  【特記事項】		あおもり出会いサポートセンターSNS (Facebook) フォロワー数
4	<b>ひろさき広域婚活支援事業</b>								住民課	
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】	【特記事項】		婚活イベント参加率 (婚活イベントの定員に対する参加者数の割合)

(2) 安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
子どもたちに笑顔であいさつ！みんなで見守る地域の子育て	■（仮称）ふじさき子育て応援団の構成団体数	（仮称）ふじさき子育て応援団の組織化	30団体（H32） ※5年で30団体増加	5団体	6団体	6団体	6団体		

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成30年度				令和元年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
1	<b>放課後学童保育体制充実事業</b>		学童保育登録児童数	300人 (243人)	327人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する  【方針の詳細】引き続き小学校6年生までの児童を対象として本事業を実施する。	A 総合戦略の推進に有効  【特記事項】	学童保育登録児童数	350人 (327人)	住民課
	事業概要・目的	取組内容									
小学校1年生から6年生までの児童を対象に学童保育を実施し、児童に健全な遊びの場を与えるとともに、体力増進の機会を与え、放課後児童の健全育成を図る。		平成30年度から小学校6年生までの児童を対象として事業を実施する。									
2	<b>一時預かり・延長保育事業</b>		一時預かり保育実施保育所（園）数  延長保育（促進）実施保育所（園）数	6か所 (7か所)  6か所 (7か所)	一時預かり6か所  延長保育6か所	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する  【方針の詳細】引き続き保育所（園）、認定こども園6か所にて本事業を実施する。	A 総合戦略の推進に有効  【特記事項】	一時預かり保育実施保育所（園）数  延長保育（促進）実施保育所（園）数	6か所 (6か所)  6か所 (6か所)	住民課
	事業概要・目的	取組内容									
・家庭で保育を受けることが一時的に困難になった乳幼児を、主として昼間に保育所等で一時的に預かり必要な保護を行う。 ・保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外に保育所等で保育を実施する。		多様化する保育ニーズに対応したサービスを提供する。									
3	<b>病児保育事業</b>		病児保育実施保育所（園）数	2か所 (1か所)	1か所	D 地方創生にあまり効果がなかった	1 事業をさらに発展させる  【方針の詳細】ときわこども園に病後児保育室を整備したが、保育士不足により本事業を実施できなかったため、県と連携して保育士の確保に努める。	A 総合戦略の推進に有効  【特記事項】	病児保育実施保育所（園）数	2か所 (1か所)	住民課
	事業概要・目的	取組内容									
藤崎保育所において、平成28年6月から病児保育事業（病後児対応型）を実施し、更なる子育て支援の推進を図る。		病児室トイレ等の衛生設備の工事を実施し、病児保育の充実を図る。									

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成30年度					令和元年度		担当	
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価	重要業績評価指標 (KPI)		
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値				評価指標		目標値 (現状値)
4	<b>乳幼児及び子どもの医療費助成事業</b>		助成件数	27,000件 (27,709件)	28,444件	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	助成件数	28,000件 (28,444件)	住民課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】引き続き医療費助成を行い、子育て世帯を支援する。	【特記事項】			
5	<b>出産祝金事業</b>		支給者数	19人 (19人)	19人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	支給者数	19人 (19人)	住民課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】引き続き第3子以上への祝金を支給し、子育て世帯を支援する。	【特記事項】			
6	<b>子育てサポート事業</b>		子育て応援団の構成団体数	10団体 (6団体)	6団体	D 地方創生にあまり効果がなかった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	子育て応援団の構成団体数	10団体 (6団体)	住民課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】引き続き事業所・団体等に声掛けをし、登録団体を増やすための取組を実施する。	【特記事項】移住先選択のPRにもなることなので、ぜひ応援団の登録拡大に努めてもらいたい。			
7	<b>すこやか健診（相談）事業</b>		すこやか健診受診率（乳児健診）	95.0% (93.3%)	90.30%	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	すこやか健診受診率（乳児健診）	95.0% (90.3%)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】検診受診者に対し乳児期からの規則的な生活習慣の基礎づくりができるよう対象者にあわせた支援を実施していく。	【特記事項】			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容	平成30年度					令和元年度		担当	
		重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価	重要業績評価指標 (KPI)		
		評価指標	目標値 (現状値)	実績値				評価指標		目標値 (現状値)
8	<b>放課後子ども教室推進事業</b>									
	事業概要・目的	取組内容	わんぱく教室・子どもふれあい教室参加児童数	1,100人 (922人)	1,104人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	わんぱく教室・子どもふれあい教室参加児童数	1,100人 (1,104人)
子どもの学びの場、遊びの場、地域の人との交流の場として、土曜日を中心に児童生徒を対象にスポーツ・文化活動の事業(教室)を開催。平成19年度からは、放課後児童健全育成事業と連携しながら実施している。	町内2ヶ所で、わんぱく広場や子どもふれあい教室を開催し、学習・体験交流の機会を定期的に提供する。	【方針の詳細】 わんぱく広場や子どもふれあい教室を開催し、学習・体験交流の機会を定期的に提供する。					【特記事項】			
9	<b>地域子育て支援拠点事業</b>									
	事業概要・目的	取組内容	子育て支援拠点の延べ利用者数	900人 (1,149人)	911人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	子育て支援拠点の延べ利用者数	950人 (911人)
地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図る。 ①育児不安等についての相談指導 ②子育てサークルやボランティアの育成・支援 ③需要に応じた保育サービスの積極的実施・普及促進 ④地域の保育資源の情報提供等	藤崎保育所を子育て支援拠点施設とし、地域全体で子育てを支援する。	【方針の詳細】 引き続き藤崎保育所を子育て支援拠点施設として、地域全体で子育てを支援する。					【特記事項】 子育て家庭の保護者が気軽に交流できる場の提供は重要だと思う。			
10	<b>ひとり親家庭等医療費助成事業</b>									
	事業概要・目的	取組内容	助成件数	4,900件 (4,937件)	5,027件	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	助成件数	5,000件 (5,027件)
ひとり親家庭等(母子、父子家庭等)に対して医療費の一部負担額を助成する。	ひとり親家庭への支援充実のために、医療費の助成を行う。	【方針の詳細】 引き続きひとり親家庭への医療費助成を行い、子育て世帯を支援する。					【特記事項】			
11	<b>子育て支援WEBサイト運営事業</b>									
	事業概要・目的	取組内容	子育てウェブサイトアクセス数	3,600件 (3,325件)	4,822件	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	子育てウェブサイトアクセス数	5,300件 (4,822件)
町内在住、移住を考えている子育て世帯の方に、町が実施している子育て支援の情報を発信することにより、子育て支援施策を更に利用してもらい、子育て世帯の移住・定住の促進を図る。	町が実施している子育てサポート情報をウェブサイトで発信することにより、子育て支援施策をさらに利用してもらい、子育て家庭の移住・定住を促進する。	【方針の詳細】 引き続きWEBサイトを充実させて、アクセス数を増やす取組を実施する。					【特記事項】			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容	平成30年度					令和元年度		担当		
		重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価	重要業績評価指標 (KPI)			
		評価指標	目標値 (現状値)	実績値				評価指標		目標値 (現状値)	
12	<b>特定不妊治療費助成事業</b>	特定不妊治療の助成を 実施し、出生数の増加 を図り、少子化対策の 一助とする。	特定不妊治療助 成件数	12件 (5件)	13件	A 地方創生に 非常に効果的であ った	2 事業を継続 する	A 総合戦略の 推進に有効	特定不妊治療助 成件数	15件 (13件)	福祉課
	【方針の詳細】 本事業の活用によ り、妊娠・出産に つながった事例も あるため、広報等 での周知を継続 し、事業活用の促 進を図る。						【特記事項】				
13	<b>ブックスタート事業</b>	図書館とボランティア 団体が協力して、乳児 健診時に絵本を無償で 送る活動を通して、赤 ちゃんと心ふれ合うひ とときを持つ大切さを PRする活動の支援を 実施する。	利用者数 (親子 組数)	100組 (98組)	93組	A 地方創生に 非常に効果的であ った	2 事業を継続 する	A 総合戦略の 推進に有効	利用者数 (親子 組数)	100組 (93組)	生涯学習課
	【方針の詳細】 乳児健診時に絵本 を無償で送る活動 を通して、赤ちゃ んと心ふれ合うひ とときを持つ大切 さをPRする活動を 支援する。						【特記事項】				
14	<b>予防接種事業</b>	おたふく風邪5,000円、 不活化ポリオ9,255円の 予防接種助成を個別通 知や勧奨を行いながら 実施する。	予防接種率 (お たふく風邪)	80% (71.2%)	93.70%	A 地方創生に 非常に効果的であ った	2 事業を継続 する	A 総合戦略の 推進に有効	予防接種率 (お たふく風邪)	95% (93.7%)	福祉課
	【方針の詳細】 定期の予防接種と 同様に、対象者 に対して事業の周知 を図り、接種を勧 奨する。						【特記事項】				

<基本目標④> いきいきと活力ある“まち”を創生する

概要	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
若者のまちづくりへの参画促進によるコミュニティ活性化、町民の主体的健康づくりと食生活改善、安心して快適に暮らせるまちづくりなど、地域資源や人材を活かした施策連携により、いきいきと活力あるまちを創生し、みんなが心豊かに共生できるまちづくりを推進する。	■町平均寿命 男性は全国との格差縮小 女性は現状維持	男性77.5歳 女性86.4歳 (H22町)	男性79.6歳 女性86.4歳 (H22全国)	男性78.5歳 女性85.4歳 (市町村別生命表)	—	—	—	—	
	■公共施設巡回バス利用者	24,901人 (H24)	26,800人 (H32) ※5年で7%増加	23,029人	24,179人	23,549人	24,798人		

※5年毎公表

(1) みんなのまちづくり活動の支援

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
まちづくりの第一歩 ボランティアにみんなで参加！	■ふじさき地域活性化助成事業活用団体数	7団体 (H26)	12団体 (H32) ※5年で5団体増加	9団体	9団体	11団体	13団体		

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成30年度				令和元年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
1	<b>コミュニティ助成事業</b>		一般コミュニティ助成事業申請団体数	6団体 (6団体)	4団体	D 地方創生にあまり効果がなかった	2 事業を継続する 【方針の詳細】事業内容の周知を強化し、申請団体の増加を図る。	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効 【特記事項】	一般コミュニティ助成事業申請団体数	6団体 (4団体)	経営戦略課
	事業概要・目的	取組内容									
2	<b>ふじさき地域活性化助成金事業</b>		ふじさき地域活性化助成事業活用団体数	10団体 (9団体)	13団体	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する 【方針の詳細】事業内容の周知を強化し、申請団体の増加を図る。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】	ふじさき地域活性化助成事業活用団体数	15団体 (13団体)	経営戦略課
	事業概要・目的	取組内容									

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容	平成30年度					令和元年度		担当	
		重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価	重要業績評価指標 (KPI)		
		評価指標	目標値 (現状値)	実績値				評価指標		目標値 (現状値)
3	<b>まちづくり団体交流事業</b>	まちづくり団体 交流会参加人数	60人 (54人)	65人	A 地方創生に 非常に効果的であ った	2 事業を継続 する	A 総合戦略の 推進に有効	まちづくり団体 交流会参加人数	70人 (65人)	経営戦略課
	事業概要・目的					取組内容	【方針の詳細】 周知強化をして、 参加者増加を図っ ていく。			
4	<b>まちづくり座談会事業</b>	まちづくり座談 会実施回数	1回 (1回)	1回	A 地方創生に 非常に効果的であ った	2 事業を継続 する	A 総合戦略の 推進に有効	まちづくり座談 会実施回数	7回 (1回)	経営戦略課
	事業概要・目的					取組内容	【方針の詳細】 多様な意見を徴す るための効果的な 方法を検討しなが ら実施していく。			
5	<b>各種審議会委員公募事業</b>	各種審議会等の 公募委員数	2人 (0人)	2人	A 地方創生に 非常に効果的であ った	2 事業を継続 する	A 総合戦略の 推進に有効	各種審議会等の 公募委員数	2人 (2人)	経営戦略課
	事業概要・目的					取組内容	【方針の詳細】 多様な意見を徴す るための環境づく りに向け、周知の 強化を図っていく。			
6	<b>ボランティア連絡協議会事業</b>	ボランティア登 録者数	3,600人 (3,586人)	3,527人	B 地方創生に 相当程度効果が あった	2 事業を継続 する	B 総合戦略の 推進に効果は小 さいが有効	ボランティア登 録者数	3,600人 (3,527人)	福祉課
	事業概要・目的					取組内容	【方針の詳細】 継続してボラン ティア団体とその 連携・維持に努め る。			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成30年度				令和元年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
7	<b>老人クラブ事業</b>		老人クラブ会員数	1,510人 (1,496人)	1,466人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する  【方針の詳細】 高齢者の生きがいづくり、孤立・孤独感の解消、地域福祉への取り組みに参加し、高齢者が元氣な社会にする。	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効  【特記事項】	老人クラブ会員数	1,510人 (1,466人)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容									
8	<b>介護予防事業</b>		介護教室参加者数	250人 (224人)	188人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する  【方針の詳細】 現状値を下回っているため、目標達成のため事業を継続する。	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効  【特記事項】	介護教室参加者数	200人 (188人)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容									

(2) いきいき健康づくりの推進

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
毎日がチャレンジデー！みんなで1日15分の運動！	■スポーツプラザ藤崎利用者数	66,421人 (H26)	70,000人 (H32) ※5年で5%増加	44,271人	72,203人	54,943人	53,169人		

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成30年度				令和元年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
1	<b>各種健診事業</b>		特定健診受診率	60% (51.0%)	51.40%	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	特定健診受診率 60% (51.4%)	福祉課	
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 特定健診受診率の目標60%達成に向けて、受診勧奨を実施する。	【特記事項】			
2	<b>健康相談及び健康教育事業</b>		健康講座開催数	9回 (11回)	12回	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	健康講座開催数 11回 (12回)	福祉課	
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 ポピュレーションアプローチとして、健康講座を実施し、町の健康課題にあわせたテーマで生活習慣病予防の健康教育を実施する。	【特記事項】			
3	<b>健康推進員会事業</b>		健康推進員会会員数	130人 (133人)	126人	B 地方創生に相当程度効果があつた	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	健康推進員会会員数 126人 (126人)	福祉課	
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 現在の健康推進員と退任後の会員が、会の活動に賛同し、自主的に活動を実施することで地域ぐるみの健康づくり体制整備・地域のリーダー育成を目指す。	【特記事項】			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容	平成30年度					令和元年度		担当	
		重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価	重要業績評価指標 (KPI)		
		評価指標	目標値 (現状値)	実績値				評価指標		目標値 (現状値)
4	<b>食生活改善推進委員会事業</b>	食生活改善推進員数	40人 (38人)	37人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	食生活改善推進員数	40人 (37人)	福祉課
	【方針の詳細】地域の健康づくりのリーダーでもあるが、会員の高齢化が課題である。若い世代の会員の育成をはかりながら、事業を推進していく。					【特記事項】				
5	<b>藤崎町チャレンジデー事業</b>	チャレンジデー参加率	70% (60.6%)	70.60%	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	チャレンジデー参加率	70% (70.6%)	生涯学習課
	【方針の詳細】参加率の維持に努め生涯スポーツの推進をする。					【特記事項】				
6	<b>NPO法人藤崎町体育協会事業</b>	いきいきスポーツクラブ参加者数	5,400人 (5,216人)	5,860人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	いきいきスポーツクラブ参加者数	5,400人 (5,860人)	生涯学習課
	【方針の詳細】施設のスペース及び人員に限度があるため内容を精査の上現状規模で継続する。					【特記事項】				
7	<b>がん検診事業</b>	胃がん検診受診率 (40歳以上)	50% (23.5%)	22%	D 地方創生にあまり効果がなかった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	胃がん検診受診率 (40歳以上)	50% (22%)	福祉課
	【方針の詳細】国の目標値である50%を目標に、がん検診受診率の向上を目指すと共に、検診の精度管理を図り、がんの早期発見・早期治療につなげる。					【特記事項】				

(3) 安心して暮らせる生活環境づくり

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
避難所までのルートや避難方法 地域みんなで確認！	■自主防災組織数	1団体 (H26)	5団体 (H32) ※5年で4組織増加	2団体	5団体	5団体	6団体		

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成30年度					令和元年度		担当	
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価	重要業績評価指標（KPI）		
			評価指標	目標値（現状値）	実績値				評価指標		目標値（現状値）
1	<b>生活トラブル等の相談体制の確立事業</b>		相談窓口開設回数	2回 (2回)	2回	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	相談窓口開設回数	2回 (2回)	総務課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】	【特記事項】			
2	<b>防災訓練事業</b>		防災訓練参加者数	700人 (600人)	600人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	防災訓練参加者数	700人 (600人)	総務課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】	【特記事項】			
3	<b>自主防災組織整備事業</b>		自主防災組織数	8団体 (5団体) ※目標値は累計	6団体	C 地方創生に効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	自主防災組織数	8団体 (6団体) ※目標値は累計	総務課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】	【特記事項】			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成30年度					令和元年度		担当	
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価	重要業績評価指標 (KPI)		
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値				評価指標		目標値 (現状値)
4	<b>災害時要援護者対策事業</b>		避難行動要支援者名簿登録者のうち支援希望者数	380人 (364人)	343人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	避難行動要支援者名簿登録者のうち支援希望者数	350人 (343人)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 対象者への周知をし、登録者数を増加させるほか町内会への名簿提供の理解を求めている。	【特記事項】			
5	<b>防犯パトロール強化事業</b>		地域防犯パトロール回数	16回 (18回)	17回	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	地域防犯パトロール回数	16回 (17回)	総務課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 県内の犯罪件数は減少傾向にあるものの、子どもが被害者となる犯罪や特殊詐欺等が増えていることから、防犯意識の高揚と巡回パトロールを継続していく。	【特記事項】			
6	<b>交通安全推進事業</b>		交通事故件数 ※削減目標	55件 (43件) ※H28実績	31件 ※H29実績	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	交通事故件数 ※削減目標	55件 (31件) ※H29実績	総務課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 町の交通事故件数は減少傾向にあるが、高齢者による交通事故等の割合が増加していることから、今後も事業を継続する。	【特記事項】			
7	<b>橋梁長寿命化事業</b>		長寿命化修繕計画で補修が必要な橋梁数 ※削減目標	24ヶ所 (26ヶ所)	24ヶ所	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	長寿命化修繕計画で補修が必要な橋梁数 ※削減目標	22ヶ所 (24ヶ所)	建設課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 5年サイクルでの調査点検を実施し、安全安心な社会基盤を確保に寄与する。	【特記事項】			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容	平成30年度					令和元年度		担当			
		重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価	重要業績評価指標（KPI）				
		評価指標	目標値（現状値）	実績値				評価指標		目標値（現状値）		
8	<b>弘前圏域消費生活相談体制整備事業</b>					2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効			経営戦略課		
	<table border="1"> <tr> <th>事業概要・目的</th> <th>取組内容</th> </tr> <tr> <td>弘前圏域の8市町村が消費生活に関する相談等を広域的に連携して行うことにより、住民サービスの向上に資することを目的とする。</td> <td>相談窓口である弘前市民生活センター（ヒロロ）を周知し、有効活用を促す。</td> </tr> </table>	事業概要・目的	取組内容	弘前圏域の8市町村が消費生活に関する相談等を広域的に連携して行うことにより、住民サービスの向上に資することを目的とする。	相談窓口である弘前市民生活センター（ヒロロ）を周知し、有効活用を促す。	広報等での周知回数	2回 (0回)	2回	A 地方創生に非常に効果的であった		【方針の詳細】 藤崎町相談窓口紹介ネットワーク設置要綱に基づき情報提供に努めるとともに、消費生活に関する周知を継続する。	【特記事項】
事業概要・目的	取組内容											
弘前圏域の8市町村が消費生活に関する相談等を広域的に連携して行うことにより、住民サービスの向上に資することを目的とする。	相談窓口である弘前市民生活センター（ヒロロ）を周知し、有効活用を促す。											

(4) 快適で住みやすいまちづくり

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
まちの豊かな自然や雄大な景観 みんなでもっと自慢しよう！	■資源ごみ回収量	309t (H26)	340t (H32) ※5年で10%増加	178t	164t	137t	119t		
※資源ごみ回収補助金の単価減 H26年度：4円/kg → H27年度：3円/kg → H28年度：2円/kg									

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成30年度				令和元年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
1	<b>巡回バス等交通ネットワーク再構築事業</b>		町巡回バスの利用者数	25,250人 (23,549人)	24,798人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	町巡回バスの利用者数	25,250人 (24,798人)	総務課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 高齢者の交通手段として今後も運行を継続する。	【特記事項】			
2	<b>福祉バス運行事業</b>		福祉バス利用回数	150回 (135回)	133回	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	福祉バス利用回数	150回 (133回)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 今後も各種団体に活用してもらい、高齢者福祉等をはじめとして、各種の福祉増進のため有効に活用していく。	【特記事項】			
3	<b>地球温暖化防止実行計画策定事業</b>		町の事務事業における二酸化炭素排出量 ※削減目標	1,752,972 kg-CO2 (1,850,530 kg-CO2)	1,770,736 kg-CO2	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	町の事務事業における二酸化炭素排出量 ※削減目標	1,757,363 kg-CO2 (1,770,736 kg-CO2)	住民課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 役場公用車ガソリン使用量、庁舎等光熱水費等の抑制により、温室効果ガス排出量削減に努める。（※指標算出係数変更のため前年設定目標値に変更あり）	【特記事項】			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成30年度				令和元年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
4	<b>汚泥コンポスト化推進事業</b>		汚泥コンポスト化率	100% (100%)	100%	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	汚泥コンポスト化率	100% (100%)	上下水道課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】引き続き汚泥肥料を製造していく。リサイクルのみならず、農業集落排水の普及啓発にもつながり、もって住民の生活に寄与する。	【特記事項】			
5	<b>分別・リサイクル活動推進事業</b>		町民1人1日当たりのごみ排出量 ※削減目標	889g (1,006g)	1,031g	E 地方創生に効果がなかった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	町民1人1日当たりのごみ排出量 ※削減目標	980g (1,031g)	住民課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】広報紙等を活用して分別への協力や排出方法の周知を行う。また、事業系廃棄物と一般廃棄物の区別を厳格化する。	【特記事項】			
6	<b>資源ごみ回収運動推進事業</b>		資源ごみ回収率	12.6% (9.5%)	11%	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	資源ごみ回収率	12.6% (11%)	住民課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】資源ごみ回収について、町民の意識向上が見られる。	【特記事項】			
7	<b>人口ビジョン及び総合戦略事業</b>		事業効果がA~Cの割合	80% (90.42%) ※H28実績	95.79% ※H29実績	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	事業効果がA~Cの割合	80% (90.42%) ※H29実績	経営戦略課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】施策パッケージにもとづいて、年度毎に実績を検証することでPDCAサイクルを実施する。	【特記事項】			
	各家庭等からの生活排水を処理した汚泥を有効活用し「汚泥発酵肥料」として農地還元するリサイクル事業	汚泥収集運搬・脱水し、汚泥肥料を製造する。									
	ごみの減量化・資源化の推進、適正排出を行い、資源を大切に有効利用する心を育て、1人1日当たりの排出量の削減を図る。	広報等を活用し、分別への協力及び排出方法の指導を実施する。また、小型家電の分別も行う。									
	町の清掃事業に協力した団体に対し、再生可能な資源の回収量に応じて報奨金を交付資源ごみ回収運動の推進を図る。	ごみを資源として活用するため、資源ゴミの回収について、今後も周知・啓発を図る。									
	町の人口の将来展望を示す人口ビジョンを踏まえ、人口減少克服・地方創生を実現するため、自立性、将来性、地域性、直接性及び結果重視の5つの政策原則に基づく総合戦略を平成27年度に策定し、策定後は各施策の効果検証を行う。	平成27年10月に人口ビジョン及び総合戦略策定し、平成28年度から本格的な地方創生推進事業を展開するとともに、効果検証を行う。									

【別紙】特記事項 一覧

事業No.	事業名	特記事項(評価コメント)	記入者 発言者	備考および担当課コメント等	担当
基本目標①(1)1	藤崎町地域産業振興拠点整備事業 (※交付金活用事業=委員評価コメント要)	初年度の活況の後、2年目を以降に停滞する懸念もなくはない。内容の充実を目指してしっかりとやって欲しい。	藤崎委員	後継の交付金事業にて拠点を中心とした産業振興・地域づくり施策を用意している。引き続き拠点の盛り上げを図れるように実施していきます。	経営戦略課
基本目標①(1)2	ふじさき産品開発育成支援事業 (※交付金活用事業=委員評価コメント要)	開発品の売り上げはどうか？  個々の事業者や農家の経営拡充になっているとは思われる。一方、地方創生のためには、地域全体としてのPRや産業振興がより重要であり、そういった点では本来求める成果には、まだ直結できていない感がある。	藤崎委員  石澤委員	H30ふじさき食彩テラスでの販売状況=1,865,966円/5,514個/30種類  りんご・にんにく・トマトなど地域の特産品を活用した商品づくりを通じて、地域の独自性がアピールできているものと捉えております。地域全体についての直接的なPRは、ふじさき産品webサイト運営等のPRプロモーション事業で行いつつ、地域オリジナル商品の展開によって“ふじさきファン”獲得につながるよう取り組みを継続します。	経営戦略課
基本目標①(1)3	藤崎町認定農業者事業	認定農業者の確保や研修事業も重要であるが、比較的年齢層の高い農業者に偏りがある感もある。将来的な目線からは、その後継者世代を対象にした技術普及や研修実施により意義があると思われるので、そういった取り組みにも力をいれてもらいたい。	石澤委員	認定農業者の登録に年齢要件がある訳ではないものの、農業者の高齢化に伴って認定農業者の年齢層が高くなっているのも確かです。地域の農業経営体を維持するため、若手の経営者へのPRや農業者の若返りを図っていく必要があると認識しています。 また、認定農家の会が開催する講習会等では、地域全体の農業技術の向上につながるよう、会員以外の方が広く受講できる内容としているものもあります。 若い世代の皆さんにも多数参加いただきたいと考えています。  ※ 別紙「事業評価がDおよびEとなっている事業の詳細」記載あり	農政課
基本目標①(1)7	りんご減農薬栽培推進事業	減農薬栽培をして付加価値のあるものを作っても、それを価格に反映できる売り先を確保できないと経済的な効果は薄いと感じる。現状では、藤崎町の減農薬りんごがストーリー性をもった売り方で出回っているように見受けられない。	石澤委員	交信かく乱剤は一定の害虫駆除薬剤に代わるものとして、病虫害被害の軽減と農薬コスト低減を図り、経営の安定合理化を図る目的で地域に広く導入されるよう普及促進を図ってまいりましたが、実際には減農薬で栽培されたりんごを「減農薬りんご」として差別化して販売することが難しい状況です。 別事業の「ブランド化推進事業」でも、再度PRの方向性を考え直すタイミングとなっております。そういった場も活用しながら、あらためてJA等関係団体との連携を図りつつ、減農薬のPRを含めた戦略づくりの再検討が必要であると考えているところです。	農政課
基本目標①(1)9	食料と農業に関する基本協定代表者会議事業	消費者との交流で藤崎町と農産物の付加価値を高めていくには、取り組みを継続していくことが重要と考える。	石澤委員	当事業は地元生産者や農協と首都圏消費者等との交流を促進することで、藤崎町および農産物のファンになってもらい、付加価値をつけた販売を持続的なものとする取り組みです。効果促進のためには、引き続きより多くの消費者に藤崎町を体験していただく必要があるため、事業を継続して実施していきます。	農政課
基本目標①(1)10	りんご「ふじ」発祥の地ブランド化推進事業	ブランド価値をつくって高めていくためのストーリーが見えてこない。	石澤委員	当事業では、「りんごふじ発祥の地藤崎町」といった地域の独自性をはじめ、地元農産物の品質等のPR方法を検討し、販売効果を高める方法を多角的に検討実施することを目指しています。ここまでの会議では、ふじ発祥の地を活用した「プレミアムりんご」の規格づくりを検討したものの、議論が行き詰まりいったん棚上げとなりました。 今後は減農薬栽培PRの課題も含め、効果的な方法の検討に向けて、あらためて関係各所との対話を重ねてまいります。	農政課
基本目標①(1)12	地域6次産業化推進事業 (※交付金活用事業=委員評価コメント要)	個々の事業者の6次産業化はもちろんのこと、地方創生の視点においては、地域全体が連携して6次産業化で付加価値を生み出していく考えが必要。	石澤委員	当事業においては、多くの方に6次産業化の考え方に触れて理解していただけるように講座開催をしてきました。今後は当該内容を活かしつつ、地域6次産業化が実現されるよう、藤崎町食産業創造拠点施設「ふじさき食彩テラス」を中心に、生産者・加工業者・販売者が連携していきける体制づくりを進めてまいります。	経営戦略課

事業No.	事業名	特記事項(評価コメント)	記入者 発言者	備考および担当課コメント等	担当
基本目標①(3)1	プレミアム付商品券事業	大型店が中心になってしまうため、地元の店でのメリットを増やして利用してもらう。	千葉委員	大型店はもちろんのこと、地元商店の利用によりメリットのある施策の構築に向け、商工会と連携して検討を進めます。	経営戦略課
基本目標①(3)2	商店街等活性化イベント事業	地域活性において非常に良いと思う。町民全体での参加率が上がるとなお良い。	千葉委員	今後も事業を継続してイベントの地域への浸透を図っていきます。	経営戦略課
基本目標①(3)3	「ふじワングランプリ」事業	商店街活性化イベントと同様に、地域活性において非常に良いと思う。	千葉委員	参加店舗も増加しており、より藤崎町を楽しんでいただけるイベントとなっていると考えております。今後も持続性のあるイベントとなるよう内容の検討をまいります。	経営戦略課
基本目標①(3)4	グルメぐりスタンプラリー事業	参加店も増えて良いと思う。	千葉委員	継続的に地域の回遊性を高める取り組みとなるよう工夫して実施していきます。	経営戦略課
基本目標②(1)1	移住・交流促進事業	移住相談件数自体が0件であるため、相談者を増やすための取り組みが必要だと思った。	小笠原委員	広域連携での移住交流イベントの参加等をして町のPRを行っておりますが、直接担当課への問合せがない状況です。移住を検討する方にとっての交流窓口として機能するように継続していきます。 ※ 別紙「事業評価がDおよびEとなっている事業の詳細」記載あり	経営戦略課
基本目標②(2)7	家庭教育支援事業	働く人を呼び込むのが難しいと思った。気軽に参加できる講座だと良いと思った。	小笠原委員	家庭教育講座については、仕事のある保護者でも参加できる機会となるよう、学校の参観日等と重ねて実施するといった工夫をしてしております。今後も検討を重ねます。 ※ 別紙「事業評価がDおよびEとなっている事業の詳細」記載あり	生涯学習課
基本目標②(2)8	藤崎町文化センター自主事業	小中学生の時、公演を見るのが楽しかった。これからも続けて欲しい。	小笠原委員	事業を継続して児童生徒をはじめとした多くの住民が文化芸術に親しめる場をつくってまいります。	生涯学習課
基本目標③(2)9	地域子育て支援拠点事業	子育て家庭の保護者が気軽に交流できる場の提供は重要だと思います。	工藤委員	藤崎保育所を拠点施設として子育て世帯の支援を継続することとしております。	住民課

【別紙】事業効果(担当課による検証)がDおよびEとなっている事業の詳細

事業No.	事業名	事業効果	これまでの事業実施における課題(目標達成に係る問題点等)	今後の対応手法(具体的な改善点等)	担当
基本目標①(1)3	藤崎町認定農業者事業	D	認定農業者の登録者増加を目指しましたが、実績は前年度から減少となりました。農業生産者の担い手確保が大きな課題となっており、さらに高齢化による離農等もあって、認定農家が減少している状況です。 実際に前年度比△3名となった内訳は、認定を継続しなかった10名があった一方で、新規認定者が7名あり、内部の新陳代謝はある状況です。	地域の農業を担うべき認定農業者を増やして維持していくことが、地域全体の農業基盤を維持することにつながると認識しております。 農業者の高齢化が進む中、既存の認定農業者の減少に歯止めをかけることは難しいため、新たに認定を受ける農業者を増やすことに注力します。 認定農業者となることで受けられる政策上のメリットや、各種研修の対象となること等を効果的にアピールする方法を考えながら、認定農業者数の維持増加に努めます。	農政課
基本目標①(1)10	りんご「ふじ」発祥の地ブランド化推進事業	E	ブランド化推進の方針として「プレミアムりんご」の創出を目指し、それを核としてブランド化を進めるという内容で議論を進めてきました。当初は生産者やJAおよび消費者等も会議に参加していたものの、内容が「プレミアムりんご」に向かったことから、りんご生産者とJA中心の会議へシフトしていきました。数回の会議の中で「プレミアムりんご」の規格創出やブランド化に係る問題点が多くなり、藤崎町農産物ロゴマークを作成する等はしましたが、その先の議論が進まない状況に陥っていました。	今後は会議において、各農作物間や各JA間の情報交換や情報収集を実施しながら、それぞれのPRを強化していきます。その相乗効果として、藤崎農産物全体での知名度を向上させ、販売金額や農家所得を増加させていけるように協議を進めていくこととします。 そうした中で、様々な現場の声を直接反映させる必要が高まると考えられます。あらためて生産者の方々にも会議への協力を願うとともに、そういった方々も興味を持って対話に参加できるような内容の構築を心がけていきます。	農政課
基本目標①(3)5	企業誘致支援事業	E	新規立地を希望する企業への対応や情報提供については、担当課がワンストップ窓口となることで、利便性を確保できるように継続しているところです。 企業からの具体的な立地相談は、町内の遊休資産活用を検討など年に数件ある状況ですが、企業側が求める様々な条件に合致せずに、実現に至っていない状況です。	担当課が企業誘致に関する研修会等に積極的に参加して、企業誘致についての知識向上に努めます。これをもとに、今後の誘致施策の展開について検討を進めていきます。 また、担当課では毎年町内企業の訪問を実施しており、地域雇用の確保と拡充についてのお願いをしております。こういった機会を通じて、企業活動の円滑化に向けた環境整備への提案等についてヒアリングも行っています。こうした地道な活動を継続していきながら、新たな企業立地の候補地として選択される可能性も高めていけるように取り組んでいきます。	経営戦略課
基本目標②(1)1	移住・交流促進事業	E	広域連携で実施する首都圏での移住交流イベント等にてPRを実施しています。その成果として具体的な移住相談を持ちかけられた件数を指標としておりますが、実績は0件という状況です。とはいえ、その他の地域の事業活動や地道なPR等により、藤崎町への移住実績は次のようになっています。 H30県外からの転入数 110人 うちH30人口集中地域(三大都市圏および政令指定都市)からの転入数 86人	移住交流イベントを機とした相談によらずとも、より大きな目標成果である町への移住者が実績としてカウントできますので、当該実績を新たに評価指標に追加してKPIの管理およびPDCAサイクルを進めることとします。	経営戦略課

事業No.	事業名	事業効果	これまでの事業実施における課題(目標達成に係る問題点等)	今後の対応手法(具体的な改善点等)	担当
基本目標②(2)7	家庭教育支援事業	D	家庭教育支援事業は、家庭教育相談(参加者年数人)と家庭教育講座(1講座当たりの参加者数約80人)とで構成されています。そのうち家庭教育講座はその時々でタイムリーな演題を設定しつつ講師を招いて開催するものであり、年毎の開催回数が一定ではありません。そのため、年毎の参加者数に大きな波が生じる結果となっております。	家庭教育環境の充実にいかに貢献したかという評価は、やみくもに講座の回数を増やすのではなく、その時々々の教育界に求められている演題をいかにタイムリーに設定できるかというところにかかっていると考えます。その内容を把握管理できるよう、KPIの評価指標を「家庭教育講座1開催当たり参加者数」とし、これまでの平均約80人を維持できるよう努めていくこととします。	生涯学習課
基本目標③(2)3	病児保育事業	D	病児保育に対応した施設整備を進め、これまでの藤崎保育所に加え、ときわこども園にも保育室を整備しました。しかしながら、ときわこども園への入所希望者の増により、ときわこども園で病児保育を実施するための保育士を確保することができず、事業を実施することができませんでした。	病児保育実施施設が増加することにより、地域の子ども・子育て支援事業が充実するものと考えております。関係各所と連携を密にし、国の保育士処遇改善事業を活用しながら、事業実施に必要な保育士の確保に努めます。	住民課
基本目標③(2)6	子育てサポート事業	D	子育てガイドブックの配布や子育て応援事業所の登録を通じて、町ぐるみの子育て環境の向上を目指しております。この事業の評価指標として、子育て応援団に登録する事業所数を設定しているところです。直近の実績としては年度を通じて増がなく、以前からの累計値に変化がない事業として“D評価”を付しました。	子育て応援団については、登録により事業所のPRにつながることや、子育て世代の消費者の利用増が見込まれることから、事業者にもメリットがあるものと考えております。また、登録事業所の充実が子育て環境の充実した地域としてのPRにもなることから、事業の継続拡充が地方創生に資するものと考えております。一方で、本制度そのものや登録によるメリットについての周知が不十分であると思われるので、今後も様々な機会を捉えて地域に事業をPRし、推進していくこととします。	住民課
基本目標④(1)1	コミュニティ助成事業	D	コミュニティ助成は地域コミュニティの基礎的な活動に要する備品整備を助ける制度であり、採択によって地域活動の活性化につながる効果が大いに期待できるものとなっております。ただ、助成元の予算に限りがあるため、藤崎町での各年の採択件数はおよそ1~2件といった状況です。申請が多ければ採択が多くなるという訳ではなく、さらに必要な書類の煩雑さもあって、申請する地域コミュニティには負担感が大きくなっているようです。	採択件数に限りがあるとはいえ、まずは申請をしなければ案件が採択になることはなく、継続申請によって採択になる可能性が高まることも考えられます。申請を検討するコミュニティ組織が、必要書類を整えて適切に申請できるようにサポートをすることで、継続申請するコミュニティ組織の数を維持します。少数の採択であっても、継続して助成を受けることで、地域全体の基礎的なコミュニティ活動が活発になるように取り組みます。	経営戦略課
基本目標④(2)7	がん検診事業	D	検診によるがんの早期発見・治療により地域の平均寿命の延伸に寄与できるものと考えます。評価指標の目標は、国の目標である受診率50%に設定しておりますが、現状では22%と大きな乖離があります。さらには、前年度の受診率23.5%からも低下しており、目標達成には大きな課題があります。	目標達成のためには、正しい検診(精度管理)と正しい受診(受診PR)をしてもらうことが重要で、精度管理の充実と受診率の向上には、更なる制度のPRが必要と思われます。制度利用により公費負担を受けて定額で受診できることや、早期発見による生存率の向上等について、改めて周知の方法を検討する必要があると考えます。また、受診制度の適用について、説明資料等が煩雑になっていることも考えられますので、今一度住民目線に立って内容を見直すことも検討します。	福祉課

事業No.	事業名	事業効果	これまでの事業実施における課題(目標達成に係る問題点等)	今後の対応手法(具体的な改善点等)	担当
基本目標④(4)5	分別・リサイクル活動推進事業	E	<p>分別・リサイクル活動の推進により、ごみの減量化と持続可能性の高い地域づくりに寄与することを目指しています。しかしながら、H30年度実績は、前年値よりゴミ排出量が増加する結果となりました。取り組み推進には住民一人一人の分別・リサイクルに対する意識の高揚と協力のほか、事業者が排出する事業系のごみについても分別・リサイクルを推進していく必要があります。</p>	<p>関係各所と協力しながら、住民及び事業所への効果的な普及啓発活動を展開します。ごみの増大が町財政を圧迫することで結果的に住民サービスの低下を招きかねないこと、事業所にとっては事業活動に負の影響を与えかねないことなど、活動の根本的な意義を啓蒙することで、意識の高まりと事業効果の向上につなげられるよう、啓蒙の方法を検討していきます。</p>	住民課